

静寂と轟音と

新
秋田道遙

文・写真 津島修三

第17回



三階の滝からさらに上流に向かうと、糸滝や五色の滝といった名瀑もある。また、近くの青森県との県境の山中には、信仰の地にもなっている「石の塔」と呼ばれる巨石があり、青森秋田両県から参拝客がある

自然の豊かな秋田には美しい滝や
溪流が多い。

美しい風景をカメラに収めたい一人
として、絵になる滝は憧れともいえ
る存在だ。

この冬、旧田代町北方の青森県
境にほど近い山中にある岩瀬川溪流
「三階の滝」を撮りたいと思った。

岩瀬川の三階の滝は、溪流瀑ある
いは滑滝に分類される形態を持つ。
切り立った断崖絶壁を垂直に流れ落
ちるのではなく、読んで字の通り、流
れの中にできた高低差の少ない段差

をスロープ状に流れ落ちる滝だ。

三階の滝に限らず、多くの滝は山
の中にある。雪の季節に現場までた
どり着けるのかという不安はある。

ダメ元で出掛けてみたら、果たし
て最後の集落を過ぎてからも林道は
ずっと除雪されていて、三階の滝まで
難なくたどり着けた。

こんな山奥の林道が除雪されてい
るのにはワケがある。

この林道の終点には、ロケット燃料
燃焼試験場なる施設がある。日本が
宇宙開発を進めていく過程で、打ち

上げロケットのエンジンが設計通りの
推力を出せるか、本番前に実験して
データを取るために設けた施設で、
昭和51年に完成した。

ロケットエンジンは轟音を発する。

そのため、実験場は半径5キロメー
トル以内に人家がないことが設置候補
地の条件になる。この候補地探しの
途上で、時の秋田県知事小畑勇二郎
が故郷の田代町への誘致を持ち掛け
て実現したものである。

山瀬ダムの上流の五色湖から試
験場までの林道も、事業主体の三菱

重工と田代町(現大館市)が共同で
道路整備を行うことになっているこ
とから、降雪期でも除雪が行われ、お
かげで滝マニアは雪の滝風景を撮れ
るのである。

試験場がある田代岳県立自然公
園は、世界遺産白神山地に連なる
山塊。太古の静寂に包まれる白神の
山々と、未来を切り開く最先端の事
業拠点が隣り合って位置していると
いうのも興味深い。